

最新 2025 年 2 月号より抜粋

横浜華僑総会新春聯歡会 盛大に開かる

謝成發会長ごあいさつ

施泳公使のごあいさつ（原文中文）

横浜華僑総会新春聯歡会 写真集

神奈川県知事に新年のごあいさつ

横浜市長に新年のごあいさつ

横浜華僑婦女会 新年会開催

廣東同郷会 新年聯歡会を開催

横浜福建同郷会 新年会開催

山下町町内会賀詞交換会 開催

要明鶴同郷会 聯歡懇親会開催

横浜中華街発展会 春節賀詞交換会開催

僑団教育懇親会 開かる

教師・保護者正月を祝う

第 53 回教育懇談会 開催される

訃報

横浜華僑総会新春聯歡会 盛大に開かる

横浜華僑総会は 2 月 5 日、中華街ロイヤルホール横浜で「2025 年新春聯歡会」を開催した。

この日、中国大使館施泳公使、陳巍公使参事官兼総領事、王宝鋒領事、日本華僑華人聯合總會陳隆進会長、全日本華僑華人社団連合会何徳倫会長など駐日機関、僑団などの代表らが来賓として招かれたほか、昨年国慶 75 周年に際し、物心両面で多大な協力をしてくれた企業、団体の代表と個人、そして地元横浜の僑胞など総勢約 250 人が出席した。

第一部は、横浜華僑総会の譚優矢副会長が中国語と日本語を交え司会進行した。

横浜華僑総会の謝成發会長は主催者を代表しあいさつし、まず巳年の新年の到来を祝った。また、昨年の国慶 75 周年にあたり、祝賀行事を盛り上げ多くの支援と協力を頂いたすべての方々に改めて感謝の意を伝えた。

来賓を代表して登壇した中国大使館の施泳公使は、来場したすべての方々に対し、親しく春節の祝辞を述べた。そして、施泳公使は横浜華僑総会が永きにわたり果たしてきた役割を高く評価し、特に昨年の国慶節のパレードやチャイナフェスティバルを通じて、横浜華僑総会が民族大義の前ではその堅牢な立場を守り、旗幟鮮明に力強い正義の声を上げてきたことに大使館を代表し感謝の意を表した。

続いて茉莉花女声合唱団の程肖梅団長が乾杯の音頭を取り、祝宴が始まった。

そして、壇上では横浜華僑総会謝成發会長と国慶 75 周年実行委員会の陳宜華委員長がプレゼンターとなり、昨秋の国慶 75 周年慶祝行事の催行にあたり、顕著な貢献をされた団体、企業、個人に感謝の盾または感謝状が贈られた。

第二部以降の司会は本会陳亮理事が務めた。文芸では横浜中華学校校友会国術団による六頭の勇壮な獅子が登場し、場内を所せましと隅々まで巡り、人々に幸運を授ける舞いを披露した。

続いて、幸織さんによる「日舞歌舞伎舞踊道成寺の内傘の段」が登壇し、その後茉莉花女声合唱団が「閃亮的日子」を歌い、横浜中華学校校友会国術団舞踊組が中国舞踊「敦煌飛天の舞」を披露した。

終盤では、抽選大会が行われ、当選番号が読み上げられるたびに場内のあちこちで歓声が上がった。

最後に 75 周年国慶節実行委員長を兼ねた横浜華僑総会陳宜華副会長が閉会の辞を述べ今年の新春聯歡会はお開きとなった。

謝成發会長ごあいさつ

来賓のみなさま、会員のみなさま、こんばんは！

横浜華僑総会新春聯歡会に多くの皆様にご参加いただきありがとうございます。

私が会長になってから初めてのロイヤルホール横浜にて着席での開催となり、不慣れなこともあります但よろしくお願ひ致します。

中華人民共和国駐日本国大使館施泳公使、陳巍総領事、領事の皆様、ご来賓の皆様、僑胞の皆様、新年おめでとうございます。

昨年、中華人民共和国成立 75 周年を迎え 10 月 1 日には呉江浩大使と共に皆さんと一緒に国慶節祝賀パレードを行い、沿道沿いで皆様と一緒にお祝ひできたことは大変喜ばしいことであり、多くの皆様からご協賛ご協力をいただき誠にありがとうございました。

横浜華僑総会が入っております建物が築 40 年を経過、設備などの不具合も発生し、本年 2 月より全フロア大規模な改修・リフォームを行います。改修中は皆様にはご不便をおかけいたしますが、よろしくお願ひ致します。

本日は抽選会もありますので最後までどうぞ楽しいひと時をお過ごしください。

施泳公使のごあいさつ (原文中文)

尊敬する謝成發会長 同胞のみなさま、友人のみなさま。

旧年を送り、新年を迎える季節が訪れ、みなさまと一堂に会し、春節を共に祝うことができ、心より嬉しく思います。在日本中国大使館を代表し、御臨席くださったご来賓・ご友人の皆様には熱烈な歓迎の意を表します！明けましておめでとうございます！

この一年間、中国人民は鋭意に取り組み、奮闘し、祖国の発展を推し進め、新たな成果を勝ち取りました。

中国共産党第 20 期中央委員会第 3 回全体会議（三中全会）が開催され、更なる改革の全面的深化の青写真を描きました。グローバル的に経済成長の停滞が続いている中、中国経済は大波を払い、前へ進み、凄まじい強靭さを示しております。年間国内総生産が 1 3 4 . 9 兆元、成長率が 5 % に達し、他の経済大国と比べ、遥かに目覚ましい進歩を遂げました。量が合理的に増加するだけでなく、質も明らかに向上し、まさに中国式現代化の明るい未来が示されております。みなさまにはぜひ中国を今一度観ていただき、活力溢れんばかりの祖国を身を持って感じていただきたいです。

この一年間、中日両国関係が改善しつつあり、積極的な勢いを保っています。習近平国家主席と石破茂首相が会談し、ともに努力し、中日の戦略的互惠関係の包括的推進、新しい時代の要請にふさわしい建設的かつ安定的な中日関係の構築への尽力について重要な共通認識に至り、両国関係の発展に政治的牽引を提供しました。我々は、この間中日各レベルにおける対話交流が明らかに増えることを嬉しく存じます。李強総理は中日与党交流代表団と会見し、中日ハイレベル人的・文化交流対話で一連の共通認識に至り、両国の軍事部門も交流訪問を再開しました。これはまさに双方が共に努力を重ねた成果であり、大切に、引き続きこうした得難い状況を保持すべきであると存じます。我々は中日両国が面を向かって歩み、両国指導者のコンセンサスを実行に移し、両国関係の更なる改善と発展を実現することを期待しております。

この一年間、横浜華僑総会を引き続き祖国統一を確固として擁護し、中日両国の民間における交流に重要な貢献をしました。横浜華僑総会は、横浜中華街パレードで中華民族の意気軒昂たる風貌を見せ、“2 0 2 4 チャイナフェスティバル”を積極的に支持し、中国文化の宣伝に力を注ぎました。国家の核心的利益に及ぶ民族大義の問題を前にし、横浜華

僑総会は正しい立場を堅持し、祖国統一を擁護するために力強く正義の一声を響かせました。祖国は在日華僑華人のみなさまの強固たる後ろ盾であり、大使館は「外交は人民のため」という精神をしっかりと実行し、確実にみなさまの合法的權益を守り続けます。みなさまがこれからも引き続き祖国建設の支持者・民間友好の推進者・中国物語の宣伝者として、中国式現代化に貢献することを希望しております。

最後になりますが、ご臨席の同胞のみなさま、友人のみなさまのご健康とご多幸をお祈り申し上げつつ、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました！

横浜華僑総会新春聯歡会 写真集



中華人民共和國 国歌斉唱



ごあいさつする施泳公使



六頭の獅子と施公使、謝会長



国術団舞踊組「敦煌飛天の舞」を披露



壇上で新成人を祝う



テーブルごとに表彰される国慶節協力者



茉莉花女声合唱団の「閃亮的日子」



抽選会で会長賞を引き当てた当選者

知事に新年のごあいさつ

1月6日、横浜華僑総会の謝成發会長他7名は神奈川県庁舎を訪れ黒岩知事に新年のごあいさつをした。



市長に新年のごあいさつ

1月10日、横浜華僑総会の謝成發会長他9名は横浜市庁舎を訪れ山中市長に新年のごあいさつをした



横浜華僑婦女会 新年会開催

1月26日、中華街の『大珍楼』にて、横浜華僑婦女会の新年会が開催された。来賓を代表して、東京華僑婦女会会長の黄恵様より中国語と日本語でご挨拶と心温まるメッセージを頂戴し、乾杯の発声を横浜華僑総会の謝成発会長にいただいた。

出席者は会員のほか、来賓、会館利用団体で、垣根を越えた素晴らしい交流の場ともなった。文芸では、華夏腰鼓舞の劉雲華さん、馬晶さんによる華やかな腰鼓が披露された。

宴のお開きに差し掛かる頃、出席者全員で、我和我的祖国、歌唱祖国を合唱し会場は一体感に包まれた。新たな年明けを祝うと共に、平和と愛や繋がりを感ずることが出来た横浜華僑婦女会らしい新年会となった。

(婦女会)



広東同郷会新年聯歡会を開催

(一社) 広東同郷会 (陸煥鑫会長) は1月18日(土)、中華街ローズホテルで新年聯歡会を開催した。陸会長は「新しい年、乙巳(きのとみ)へび年の年は希望に満ちていると信じています。皆様のご多幸とご家庭のご繁栄をお祈り申し上げます。希望とチャンスに満ちた新年を迎えましょう」とあいさつした。



福建同郷会 新年会開催

横浜福建同郷会（別宮浩孝会長）は2月4日に中華街華正樓本館で新年会を開催した。

4月に故郷の福建省福清市で63回旅日福建同郷懇



山下町町内会賀詞交換会 開催

1月24日（金）山下町町内会（高橋伸昌会長）の新年賀詞交換会が開かれた。

他団体の新年会同様に謝成發本会会長が出席しごあいさつした。

要明鶴同郷会聯歡懇親会 開催

廣東要明鶴同郷会（陸佐光会長）は2月6日（木）に中華街萬珍樓で新春聯歡懇親会を開催した。

干し牡蠣などを使った廣東の伝統的なおせち料理がふんだんに振る舞われた。

この日、両僑校に教育協力金が寄贈された。



新成人を祝福される会員の子弟

発展会春節賀詞交換会開催

横浜中華街発展会（進藤さわと理事長）は1月29日、中華街ローズホテルで春節賀詞交換会を開催した。この日は中華街や伊勢佐木町などの商店街、横浜ベイエリアの主要駅、商業施設、公園など市内50カ所のに巨大ラントオブジェを設置＋特別展示し、首都圏を中心とする広い範囲からの来街を誘致し、冬の横浜観光を盛り上げを目指す。「横浜春節祭」を開催中の山中横浜市長を迎えて「W春節」をともに祝った。林兼正発展会元理事長は「20年前に中華街で春節祭を始めたときは春節の認知度は低かったが今では多くの人が知るところとなりました。世界人口の5分の1が祝うお祭りを横浜のお祭りにして地域活性化を目指しましょう」と述べた。

華文教育の「新たな100年」を目指して 176 僑団教育懇親会 開かる

2月7日午後6時、学校法人横浜山手中華学園（繆雪峰理事長）は、横浜中華街大珍楼にて第53回「僑団教育懇親会」を開いた。

1969年に第一回が開かれたのを皮切りに、コロナ禍の数年間には開催を見合わせたが、コロナが明け後に再開し、今回53回目を迎えた。

この日、京浜地区の僑団、中国系企業、中文媒体の代表などが招かれ、本会謝成發会長が横浜華僑総会を代表し出席した。

懇親会は陳柏教諭の司会で始まり、繆雪峰理事長に代わり陳亮副理事長が学園を代表して歓迎のあいさつをした。

来賓を代表して全日本華僑華人社団聯合会の張書明副理事長、BYDジャパンの李充取締役が相次いで祝辞を述べ、日本華僑華人聯合総会の陳隆進会長が乾杯の音頭を取った。

また、学園理事会は源清田株式会社と王府井株式会社に「華文教育貢献賞」を授与した。

懇親会開催に先立ち一部の僑団と企業代表が学校を訪ね、張岩松校長より学校の歴史や現状についての説明をうけ、校舎内の体育館、中国文化教室、校史展示室などを見学し、120余年にわたる横浜の華僑教育の歩みについての理解を深めた。



陳副理事長と張校長から
「華文教育貢献賞」を受け取る受賞者

教師・保護者正月を祝う

2025年1月11日、山手中華学校横浜校恒例の「横浜山手中華学校家長会新年会」が横浜中華街のローズホテル横浜で開催された。154名の教職員、保護者、来賓が一堂に会し、旧正月を迎えた。

パーティーの冒頭では、譚優矢家長会会長が「家長会新年会は学校と父母会の伝統行事となっており、この場を通じて教師と父母はコミュニケーションを強化し、理解を深め、生徒の全面的な成長のために力を蓄えている」とあいさつした。

続いて、張岩松校長が熱く2024年度の同校の成果を振り返り、その背景には保護者の支援と教師全員の努力が不可欠であることを述べた。張校長は、これからの教育は生徒の個人的な成長にもっと注意を払うようになり、学校は生徒のニーズに合わせた授業を行い、ITとAI技術の急速な発展に対応し、生徒のために多様な学習経験を作り、視野を広げ

ていくと指摘した。また、教育は学校だけの責任ではなく、保護者の積極的な参加も必要であることを強調し、家庭と学校が手を携えて生徒の成長と成功を支援する新年度に期待を寄せた。

その後、学院理事会副会長兼家長会副会長の陳亮氏が乾杯の音頭をとり、祝賀会は和やかに進化した。



第 53 回教育懇談会 開催される

2024年12月6日、第53回教育懇談会が開催された。昨年同様、2部構成で行われ、第1部は学校会議室での多文化理解実践発表会、第2部は会場を横浜中華街の「富泰楼」に移し、行われた。

第一部には十数名の校長が出席した。冒頭、張岩松校長が教育懇親会の趣旨を来賓に説明。その後、羅順英副校長が多文化理解教育の実践について報告を行い、本校が過去50年間にわたり日本の社会や学校と行ってきた広範な交流を振り返り、本校の生徒が多文化をよりよく理解し、溶け込む方策を説明した。その後、和光小学校の山下先生から、本校と東京の和光小学校との長い協力の歴史について説明があり、多文化理解教育の重要性を高く評価した。最後に、張校長と羅副校長が来賓を案内し、体育館のLEDスクリーン、中国文化教室、訊飛AI朗読亭などの先進施設を紹介し、同校の教育革新における最新の成果を披露した。

教育懇親会の第2部には、日本政府の教育関係者、各校の代表者、教職員など80人以上が出席した。

午後6時、「富泰楼」の宴会場は満席となり、各界の来賓が横浜山手中華学校の教職員とともに集い、華僑教育と日本教育の現状と未来を共有し、展望する熱気に包まれた。主催者の歓迎のあいさつにつづき、横浜山手中華学校が作成した紹介ビデオで中華学校とパンダ幼稚園の歴史と発展について学んだ。

続いて、横浜山手中華学園繆雪峰理事長が就任後のビジョンを語り、前任者たちの素晴らしい伝統を引き継ぎ、県教育委員会、市教育委員会、高等学校の強力なサポートを堅持し、交流校と手を携えて、学校と横浜山手中華学校をより良いものにしていきたいと述べた。

駐日中華人民共和国大使館領事部一等書記官兼領事の王宝峰氏が大使館を代表してあいさつした。まず、同校の120年以上にわたる輝かしい歴史を高く評価し、中日両国の民間交流を促進し、中日友好関係を発展させ、中国文化を継承してきた同校の優れた貢献を称えた。同時に、王領事は大使館を代表し、日本の教育界が各界から本校を継続的に支援していることに深い感謝の意を表した。王領事は、大使館は今後も本校の発展を全面的に支援し、学校と手を携えて両国の文化交流のさらなる深化を推進していくと述べた。

続いて、神奈川県教育委員会教育局指導主事の増田年克氏があいさつした。増田氏はまず、2年連続で本校の教育懇親会第1部に参加し、本校の教育内容を深く理解したと述べた。今年の多文化理解実践報告第1部では、本校が横浜市の教育に多大な貢献をしてきたことをより明確に理解されたようでした。また、本校の多文化理解教育が、日本の公立学校のみならず、日本の教育システム全体にとっても貴重な参考・教訓であることを強調された。

横浜市教育委員会事務局の石川隆一教育次官は挨拶の中で、中華学校は横浜市、さらには日本の教育界において

重要な位置を占めており、中国の文化やイメージを代表する重要な存在であると述べた。また、横浜市と日本の教育界全体が常に教育の国際化の道を模索しており、本校の教育内容や他校との友好交流は教育の国際化の優れた例であると指摘した。

鎌倉市教育委員会教育長の高橋洋平氏は、本校と鎌倉市の教育交流がICT教育（情報通信技術を活用した教育方法）の分野から始まったこと、現在ではICTにとどまらず、鎌倉市内の様々な学校の生徒が交流・協力していることを紹介した。この異文化交流は、鎌倉市の教育の国際理解を促進する重要なチャンネルとなっている。

最後に、神奈川県私立中学高等学校連合会副会長で横浜学園高等学校長の田沼光明氏が乾杯の音頭をとった。田沼副会長はまず、長年にわたり父親とともに本校と緊密な交流と協力を続けてきたと述べた。田沼氏は、中華学校は学校であると同時に、日本と中国における華僑のイメージを代弁する重要な代表であるとの考えを示した。田沼氏は、より多くの日本の学校が本校と友好的な関係を築き、このプラットフォームを利用して、中国と華僑華人の文化や精神についてより深い理解を得ることを希望した。田沼氏は本校への継続的な強力な支援を呼びかけ、最後に来賓全員による乾杯を提案し、中華学校の輝かしい未来と中日両国民の深い友好を祈念した！

53年連続で開催されている懇親会は常に「友好を深め、理解を深める」という目的を堅持し、学校運営のレベルを継続的に向上させるという本来の意図のもと、懇親会を通じて各界の人々と深い議論や交流を行い、意見を交換してきました。この形式は、中国大使館、日本政府、日本の学校や教育界から広く支持されている。（山手中華学校）



訃告

呉柳東成女士（元山手中華学校家長会会長、呉桂顕元山手中華学校理事長ご令室、呉健一 16 届、呉映雪 18 届、呉映玉 22 届ご母堂）2 月 23 日に逝去されました。享年 101 歳。葬儀は 3 月 6, 7 日「関内ほうさい殿」で執り行われます。

謹んでご冥福をお祈りいたします。